



TITLE:

京大広報 No. 118

AUTHOR(S):

京都大学広報委員会

CITATION:

京都大学広報委員会. 京大広報 No. 118. 京大広報 1975, 118: 540-540

ISSUE DATE:

1975-12-15

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/209573>

RIGHT:

京大広報

No. 118

京都大学広報委員会

大学院制度改革に必要な学 内諸規程の改正について

大学院制度検討委員会委員長
平 場 安 治

本学の大学院制度改革については、当委員会
は昭和50年3月に「大学院制度改革について」
を答申し、それに基づいて引き続き学内規程の改
正の作業を進めてきた。この間、特に、大学院設
置基準の制定に伴う緊急の改正を必要とする最少
限度の事項については、昭和50年6月の通則改正
により改められた。

その後、「京都大学通則改正案」、「京都大学学
位規程改正案」及び「大学院の管理運営に関する
規程作成についての方針」からなる一応の成案が
得られたので、総長への答申に先立ち、これらに
対する各部局の意見を徴して所要の改善を加えた
と考え、10月9日付けで各部局長に照会した。
なお、部局の意見は、12月25日までに委員会に回
報して頂くよう依頼してある。委員会としては、
これらの改正案が、昭和51年度から実施されるこ
とを目標とするものである。

白馬山の家開設について

毎年、利用者から好評を受けている白馬山の家
を、今冬は下記のとおり開設いたしますので、本

学の学生および教職員が利用される場合は、下記
を参照のうえ、申し込んでください。

この山の家は、中部山岳国立公園白馬山麓の^{つが}梅
^{いけ}池高原にあり、四方を北アルプスの峰々に囲ま
れ、冬季には積雪量も多く、雪質の良さとともに
スキーには絶好の条件を備えています。

建物は、山小屋風の木造2階建地下1階で、間
取りは主として1階に食堂兼談話室、2階は寝室
(ベッドで42名収容)、地下は浴室、乾燥室等から
なっています。

記

1. 名 称 京都大学^{はくばやま いえ}白馬山の家
2. 所 在 地 ^{あずろ おたり}長野県北安曇郡小谷村大字千国字
柳久保乙869の2

(交通機関)

国鉄大糸線「白馬大池」下車、松本電鉄バス
「親の原」下車、徒歩約20分

3. 開設期間 12月20日(土)～1月20日(火) な
らびに2月20日(金)～4月10日(土)
4. 所要経費 1人1泊、使用料80円、暖房料50
円、ほかに食費等実費程度
5. 申し込み 詳細は、本学体育会事務室(西部
構内総合体育館内、電話学内2574)
に照会してください。
6. 備 考 山の家のある梅池高原には、初心
者向きから上級者向きまで各種の
ゲレンデがあります。

(学生部)